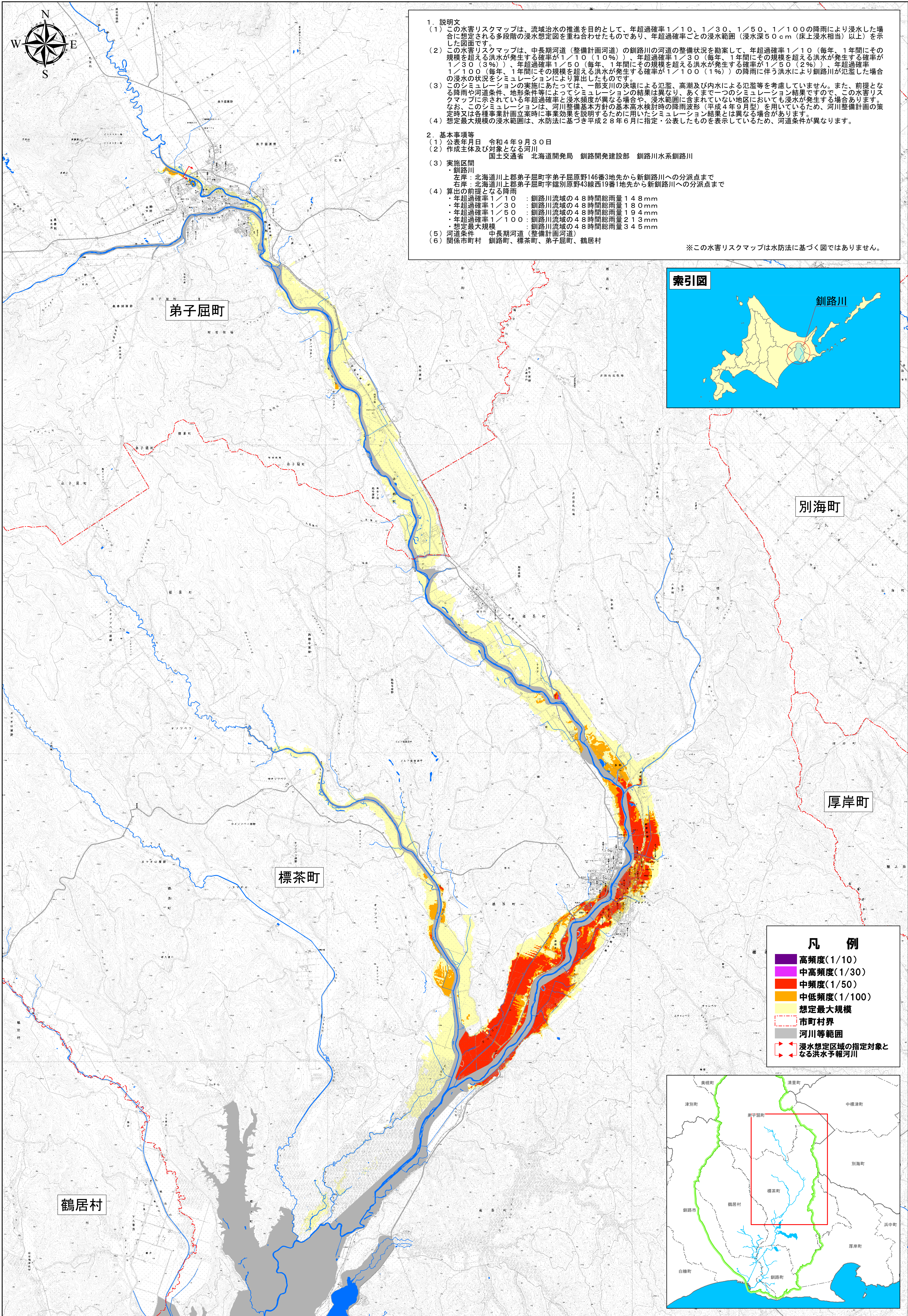


釧路川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【中長期河道】

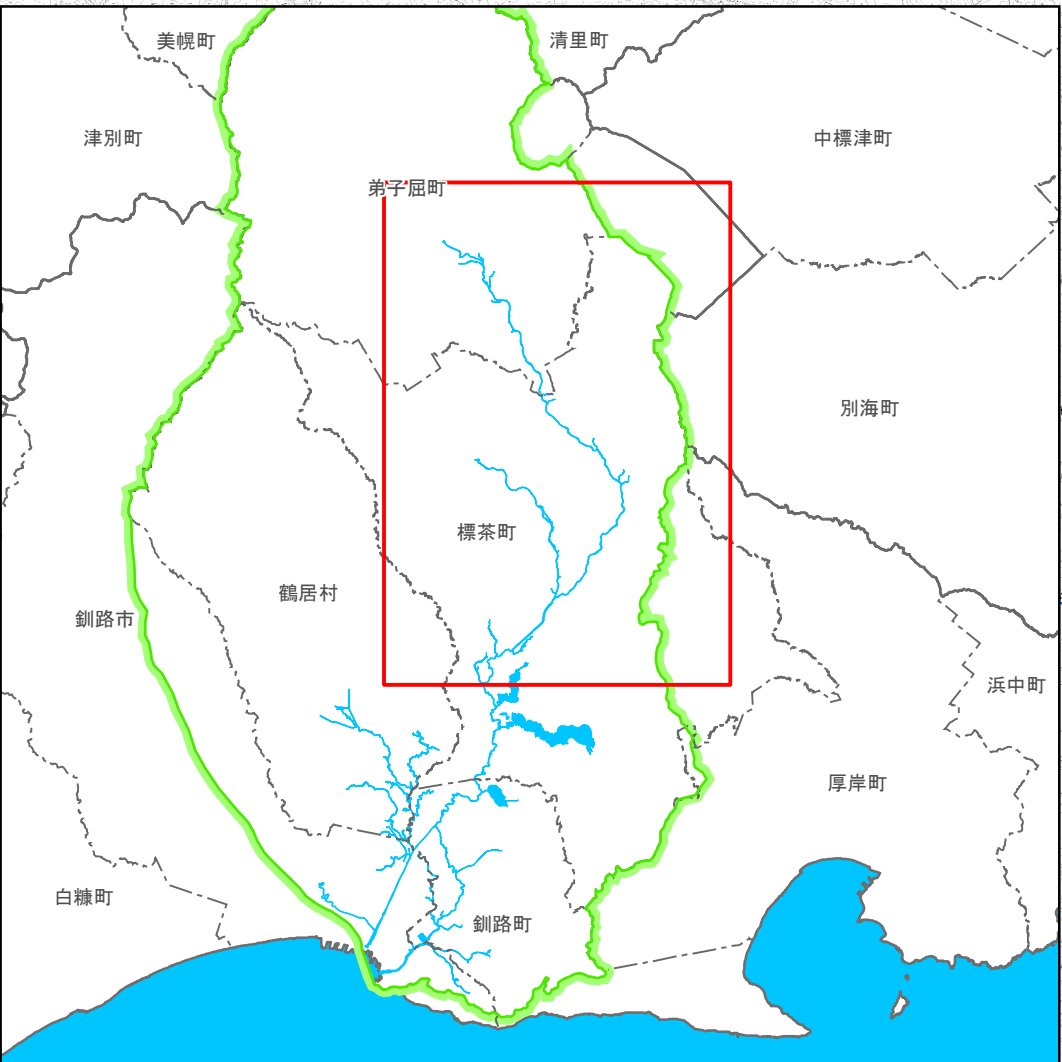
浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、中長期河道（整備計画河道）の釧路川の河道の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により釧路川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、一部支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（平成4年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年9月30日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路川水系釧路川
- (3) 実施区間
- ・釧路川
- 左岸：北海道川上郡弟子屈町字弟子屈原野146番3地先から新釧路川への分派点まで
- 右岸：北海道川上郡弟子屈町字鑑別原野43線西19番1地先から新釧路川への分派点まで
- (4) 算出の前提となる降雨
- ・年超過確率1/10：釧路川流域の48時間総雨量148mm
- ・年超過確率1/30：釧路川流域の48時間総雨量180mm
- ・年超過確率1/50：釧路川流域の48時間総雨量194mm
- ・年超過確率1/100：釧路川流域の48時間総雨量213mm
- ・想定最大規模：釧路川流域の48時間総雨量345mm
- (5) 河道条件 中長期河道（整備計画河道）
- (6) 関係市町村 釧路市、標茶町、弟子屈町、鶴居村
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



- 凡 例
- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川



0 1 2 3 4 5
1:50,000
km

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHF 514」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」